

分数の虫食い算④（帯分数の ひき算）

小5／帯分数の ひき算で □を もどす 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

$$4\frac{1}{2} - 2\frac{\boxed{8}}{9} = 1\frac{11}{18}$$

やりかた ひけない ときは、整数から 1 くり下げて もどす

① 分母を そろえる。2と9の 最小公倍数は 18。 $\frac{1}{2} = \frac{9}{18}$

② もどす。 $2\frac{\boxed{}}{9} = 4\frac{9}{18} - 1\frac{11}{18}$

③ $\frac{9}{18}$ から $\frac{11}{18}$ は ひけないので、 $4\frac{9}{18} = 3\frac{27}{18}$

④ $3\frac{27}{18} - 1\frac{11}{18} = 2\frac{16}{18} = 2\frac{8}{9}$ だから □は 8

□が ひかれる数なら 答え+ひく数で もどし、分数の 部分が 1を こえたら 整数に 1 くり上げる。

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 帯分数の 分数の 部分は 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 数を書こう。分数の 部分が ひけない ときは、整数から 1 くり下げよう。

1 $4\frac{1}{5} - 2\frac{\boxed{}}{6} = 1\frac{11}{30}$

分母を そろえた 式

2 $5\frac{1}{6} - 2\frac{\boxed{}}{8} = 2\frac{19}{24}$

分母を そろえた 式

3 $5\frac{\boxed{}}{3} - 3\frac{4}{5} = 1\frac{13}{15}$

分母を そろえた 式

4 $3\frac{1}{4} - 1\frac{\boxed{}}{9} = 1\frac{29}{36}$

分母を そろえた 式

5 $5\frac{\boxed{}}{9} - 2\frac{5}{6} = 2\frac{17}{18}$

分母を そろえた 式

6 $3\frac{2}{5} - 1\frac{\boxed{}}{7} = 1\frac{19}{35}$

分母を そろえた 式

たしかめ：□に 数を入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算④（帯分数のひき算）【こたえ】

なまえ _____

小5／帯分数のひき算で □を もどす 6もん

ひづけ _____

れい

やりかた ひけない ときは、整数から 1 くり下げて もどす

$$4\frac{1}{2} - 2\frac{\boxed{8}}{9} = 1\frac{11}{18}$$

① 分母を そろえる。2と9の 最小公倍数は 18。 $\frac{1}{2} = \frac{9}{18}$

② もどす。 $2\frac{\boxed{}}{9} = 4\frac{9}{18} - 1\frac{11}{18}$

③ $\frac{9}{18}$ から $\frac{11}{18}$ は ひけないので、 $4\frac{9}{18} = 3\frac{27}{18}$

④ $3\frac{27}{18} - 1\frac{11}{18} = 2\frac{16}{18} = 2\frac{8}{9}$ だから □は 8

□が ひかれる数なら 答え+ひく数で もどし、分数の 部分が 1を こえたら 整数に 1 くり上げる。

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 帯分数の 分数の 部分は 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に 入る 数 を 書こう。分数の 部分が ひけない ときは、整数から 1 くり下げよう。

$$1 \quad 4\frac{1}{5} - 2\frac{\boxed{5}}{6} = 1\frac{11}{30}$$

$$2 \quad 5\frac{1}{6} - 2\frac{\boxed{3}}{8} = 2\frac{19}{24}$$

分母を そろえた 式

$$4\frac{6}{30} = 3\frac{36}{30} \quad (1 \text{ くり下げ})$$

$$3\frac{36}{30} - 1\frac{11}{30} = 2\frac{25}{30} = 2\frac{5}{6}$$

分母を そろえた 式

$$5\frac{4}{24} = 4\frac{28}{24} \quad (1 \text{ くり下げ})$$

$$4\frac{28}{24} - 2\frac{19}{24} = 2\frac{9}{24} = 2\frac{3}{8}$$

$$3 \quad 5\frac{\boxed{2}}{3} - 3\frac{4}{5} = 1\frac{13}{15}$$

$$4 \quad 3\frac{1}{4} - 1\frac{\boxed{4}}{9} = 1\frac{29}{36}$$

分母を そろえた 式

$$1\frac{13}{15} + 3\frac{12}{15} = 4\frac{25}{15}$$

$$= 5\frac{10}{15} \quad (1 \text{ くり上げ}) = 5\frac{2}{3}$$

分母を そろえた 式

$$3\frac{9}{36} = 2\frac{45}{36} \quad (1 \text{ くり下げ})$$

$$2\frac{45}{36} - 1\frac{29}{36} = 1\frac{16}{36} = 1\frac{4}{9}$$

$$5 \quad 5\frac{\boxed{7}}{9} - 2\frac{5}{6} = 2\frac{17}{18}$$

$$6 \quad 3\frac{2}{5} - 1\frac{\boxed{6}}{7} = 1\frac{19}{35}$$

分母を そろえた 式

$$2\frac{17}{18} + 2\frac{15}{18} = 4\frac{32}{18}$$

$$= 5\frac{14}{18} \quad (1 \text{ くり上げ}) = 5\frac{7}{9}$$

分母を そろえた 式

$$3\frac{14}{35} = 2\frac{49}{35} \quad (1 \text{ くり下げ})$$

$$2\frac{49}{35} - 1\frac{19}{35} = 1\frac{30}{35} = 1\frac{6}{7}$$

丸つけの めやす

□の 数が 合えば 正解。わくの 式は 書いて いなくても よい。

分数の 部分の 大きい方から 小さい方 を ひくと まちがえる (1 なら 11-6 で □=1 になる。正しくは 5) 。

□が ひく数 (1・2・4・6) は ひかれる数-答え。分数の 部分が ひけないので 整数から 1 くり下げる。

□が ひかれる数 (3・5) は 答え+ひく数。分数の 部分が 1を こえるので 整数に 1 くり上げる。

声かけ：つまずいたら「分数の 部分どうしは ひける？」と 聞いてください。